

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。先日開催された第107回全国高校野球甲子園大会。決勝戦は暑さ対策として午前10時に開催されました。14年ぶりの優勝を目指す西東京代表日大三高と初優勝を目指す沖縄代表沖縄尚学高校との対戦。5回裏までは1対1の同点でしたが6回表準決勝から4番に起用された好調の宜野座恵夢選手のタイムリーヒットで勝ち越したあと8回にも宜野座選手がタイムリーツーベースを打ち3対1

とリードを広げ初めての優勝を果たしたのです。比嘉監督は「選手の頑張り尽きる。うれしいよりも不思議な感じがしている。」戦後80年という節目に沖縄県勢が優勝した事について感想をたずねられると「今の平和な時代に野球ができていかに、かつて地上戦が繰り広げられた沖縄から感謝したい」と感想を述べられたのです。はだしのゲンの作者、中沢啓治氏のお墓に刻まれた「人類にとって最高の宝は平和です」死してなお響く次世代へのメッセージだと言われております。平和な世の中は国が作るものではなく一人一人が近隣と仲良くして作り上げるものだと思います。残暑が厳しい中、皆様お身体をご自愛ください。

サンライズの物語

「ユーモアと強さで歩んだ日々」

— 言葉で寄り添い、生きる力を教えてくれた人へ —



その方は、私がケアマネになりたての頃に出会った方でした。65歳で脳出血に罹患し右不全麻痺に罹患したのですが、大学病院では理学療法士に「私の体の基礎をしっかりとリハビリで叩き込んで欲しい」と頑張っていた方でした。以前と同じ体に戻りたい。知り合った時はリハビリに対してのクオリティーの高さに驚いたものでした。

2回/週のリハビリを通い、最初の目標は右手で下着を上げられるようになる事でした。達成すると今度は料理が右手でできる事とご自身で目標を作り一つ一つ乗り越えて来ていたのです。いつもお会いするとユーモアたっぷりに「疲れた左手を麻痺した右手はさすってやる事もできない。しゃくに障るので右手にさぼってないでたまには洗濯の籠でも持ってみなと持たせてやるのよ」笑顔の素敵な人でした。

そんな中昨年夏大腸がんに罹患され術後自宅へ戻ったのですが全身に転移が見つかり、今年の春には毎回お会いする度に「自分の生き方を子供や孫達に見せる。死に方が生き様だ」と言われていたのです。

そんな方が危篤状態に陥った時に孫が産気づいたとの知らせが来た時にいくら話掛けても返事がなかったのが、私が「もうすぐにひ孫が生まれますよ」大きな声で伝えると「ずいぶん大きな声だね。」との答え・・・息子さんと大笑いをしてしまったのです。

18年間担当のケアマネだった際に毎月私に人生の大切な生きるすべを教えてくださいました。何を言っても「大丈夫、大丈夫。そのままいいのよ」

「今が一番幸せ。ありがとうございます。の言葉さえ覚えていれば人生なんとかなるのよ」「死ぬのは怖くない。先に行っている主人や両親と再会できますもの」と・・・

自分の周りの人達の心を軽くする言葉を掛け、これから人生を歩いていく人に人生の指針を教え続け最後の最後までユーモアを忘れない方でした。

「言霊」を思い出す度に涙が止まらなくなる素敵な方との出会いに感謝しかありません。



カレンダー工作

各自お花紙でマリーゴールドを作り画用紙に飾り付けて作りました。



お誕生日 皆さんでお誕生日の歌を歌って誕生日カードをプレゼントさせていただきました。



NEWS 今月のニュース

要介護の高齢者がカフェ 嬉野市の施設に「みちてらす」オープン 家庭料理をランチで提供

嬉野市嬉野町の小規模多機能型居宅介護「さとみち」に8日、カフェ「みちてらす」が開業した。施設を利用する高齢者がメニュー決めから買い出し、仕込み、調理、接客まで行う。要介護の高齢者が主体となったカフェは全国的にも珍しいという。

これまでの人生の道に光を当て、これからの「未知」の未来へ歩もうと店名を付けた。要介護状態になっても「できないこと」にばかり目を向けるのではなく、経験を生かして社会に関わる選択肢を提供し、生き生きと暮らせる場にするのが目的という。主要メンバーは6人だが、利用者29人全員が何らかの形で関わる。

煮物、だご汁など、利用者が

家庭で作ってきた料理を提供。フードメニューは1種類で、おにぎり、汁物、小鉢3種の日替わり「みちてらすランチ」が1000円。ドリンクはりんごジュースが200円、コーヒー（ホット、アイス）が300円など。

オープン日のメニューはがめ煮がメイン。「料理は何でも得意」という淵レイ子さん（89）は「家で作っていたものをおいしいと言ってもらえるのがうれしい」と話した。陸上自衛隊の補給班で調理を担っていた峰勇さん（90）は「包丁を握ると自然に体が動いた。喜んでもらえるのは力になる」と笑顔を見せた。

営業は毎週金、土曜日の午前11時30分～午後2時。問い合わせは運営のハッピーケアライフ、電話0954（43）2233。（矢野耕平）



厨房で料理をつくる利用者＝嬉野市嬉野町の介護施設「さとみち」内のカフェ「みちてらす」



客と談笑する利用者＝嬉野市嬉野町の介護施設「さとみち」内のカフェ「みちてらす」

<佐賀新聞 2025/8/17（日）>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>